

第31回広島市立広島特別支援学校小学部・中学部卒業証書授与式
校 長 式 辞

正門に立つ桜の木の芽が、日々膨らんできています。春の香りがしてきました。本校第31回卒業生として、今日を迎えられました小学部15名、中学部14名の皆さん、卒業おめでとうございます。心からお祝いをいたします。1年生のときに亡くなった山口英志君、3年生のときに亡くなった亀谷周司君も、今日は一緒に小学部を卒業します。

先ほど卒業証書をお渡しする中で、皆さんの顔がきらきらととても輝いて見えました。一人一人立派に成長した姿に、大きな拍手を送ります。

今日、皆さんの卒業をお祝いするために、御家族をはじめ多くのお客様においでいただきました。初めに、皆さんの感謝の気持ちを、私が代わってお伝えします。

保護者の皆様、本日はお子様の御卒業、誠におめでとうございます。これまで日々、生活や健康に細やかな心配りをされながら、小学部・中学部の課程を修了する日を迎えられました。それらの一つ一つを振り返るにつけて、感慨ひとしおのものがおありのことと存じます。これまで、本校の教育活動に御理解と御協力を賜り、深く感謝いたします。

また、御臨席いただき、児童生徒の新しい門出に華を添えていただきました御来賓の皆様方に心からお礼申し上げます。ありがとうございました。これから新しいスタートを切る児童生徒に、温かい御支援を賜りますようよろしくお願ひします。

さて、卒業生の皆さん、皆さんが学校生活の中で見せてくれた最高学年としての活躍ぶりは、大変素晴らしかったです。ここで少し、その思い出を振り返ってみます。

小学部6年生。5年生のときから暑い日も寒い日も、みんなで毎日続けてきたラジオ体操。初めは、音楽に合わせて運動することは難しそうでしたが、今では学年のみんなとリズムよく身体を動かすことができるようになりました。運動会の応援団では、リーダーとしてみんなを引っ張ってくれました。学年種目でも、練習の成果を発揮することができ、お父さんやお母さん、お客様から大きな拍手をいただきました。ルールやマナーを守って活動できた岡山への修学旅行。学年のまとまりをより強く感じました。それは、登校したとき友達がそろそろまで待って教室に行くこと、給食のとき友達が食べ終わるのを待って、みんなで教室に帰ることなど、毎日皆さんが取り組んできたからです。友達のことを思いやり、友達と仲良くしたりする心が育ちました。皆さんが一生懸命努力した成果です。

中学部3年生。神戸方面への修学旅行では、みんなで決めた係の仕事をやりぬきました。運動会では、目標の発表や準備体操をリーダーとして責任を果たすことができました。文化祭のゲームコーナーでは、接客を見事にやりきり、たくさんのお客さんがゲームを楽しむように取り組みました。自分で考え、役割を果たすことに努力することができ、自分から活動する力が身に付いてきました。進路学習では、高等部への進学や、高等部卒業後に向けて働くことを学習してきました。先輩たちが働いているところへの職場見学では、先輩たちの仕事ぶりを真剣な眼差しで見学をしました。一人一人が持てる力を精一杯発揮することや、友達と力を合わせて取り組むことができるようになりました。皆さんが一日一日努力を積み上げてきた成果です。

終わりに、中学部、高等部に進学する卒業生の皆さん、さらに夢と希望に向かってチャレンジしてください。これからも「明るく 元気に たくましく」御活躍されますことを心からお祈りし、私の贈る言葉とします。私の自慢の児童生徒たちへ。

平成26年3月14日

広島市立広島特別支援学校校長 中尾秀行